

(別 添)

平成26年度

施工パッケージ型積算方式標準単価表

(10月1日以降設計を行う工事から適用)

広島市

I. 施工パッケージ型積算方式標準単価表の見方 I

II. 施工パッケージ 標準単価 一覧 II

III. 標準単価から積算単価への補正方法 III - 1

III - 1. 補正式 III - 1

III - 2. 標準単価から積算単価への計算例 III - 2

①地域および時期の違いによる補正の計算例 III - 2

②条件区分に定めのない規格により積算する場合の計算例 . . . III - 3

③条件区分に実数入力を行い積算する場合の計算例 III - 4

④時間外割増賃金や豪雪補正等の補正を行う場合の計算例 III - 5

⑤支給品や無償貸付機械等がある場合の計算例 III - 6

IV. 物価変動に伴う標準単価および機労材構成比の改定

. IV - 1

I. 施工パッケージ型積算方式標準単価表の見方

施工パッケージ型積算方式標準単価表（以下「単価表」という。）は、施工パッケージ単位でとりまとめています。単価表に記載されている用語の定義は以下の通りです。

■条件区分

施工パッケージ型積算基準に定められた、各施工パッケージの積算条件区分一覧における条件区分です。

■標準単価

各条件区分に対応した、東京地区（東京 17 区）における基準年月（平成 26 年度版の基準年月は平成 25 年 4 月）の施工単位当たりの単価（円）です。この標準単価を基に地区や年月等の補正を行い積算単価を算出します。

■機労材構成比

標準単価に対する機械経費(K)、労務費(R)、材料費(Z)、市場単価(S)の金額構成比率です。なお、K、R、Zは機械経費、労務費、材料費それぞれの合計金額構成比率であり、K1～K3、R1～R4、Z1～Z4、Sは各代表的な規格の金額構成比率です。また、各合計金額構成比率(K、R、Z)は代表的な規格以外の金額も含むため、K1～K3、R1～R4、Z1～Z4の合計がK、R、Zと一致しない場合があります。

■代表機労材規格

「機労材構成比」で代表的な規格の金額構成比率を示した機械経費、労務費、材料費、市場単価の具体的な規格名称です。ただし、コンクリートやアスファルト等の材料規格については、最も代表的な材料規格のみを示しています。

留意事項

単価表には、補正に使用する機械経費、労務単価、材料単価は記載していません。これらの単価等は土木請負工事工事費積算基準の定めにより下記の通りとなります。

機械経費：請負工事機械経費積算要領

労務単価：公共工事設計労務単価

材料単価：物価資料等